

平成29年度

事業報告

社会福祉法人 白老宏友会

地域生活支援センター「あぷろ」

(共同生活介援助事業)

(短期入所(福祉型)事業)

目 次

1. はじめに
2. 地域生活支援センター「あぷろ」の体制

<第1支援課>

3. 地域巡回等の日常支援
4. 利用者居住場所の移動、新規受け入れ
5. 地域生活支援会議の実施
6. 利用者自治会活動・サークル活動の支援

<第2・3支援課>

7. グループホームの生活支援
8. 余暇支援の充実
9. グループホーム各種会議の実施

<短期入所>

10. 短期入所事業について
11. 町内会関係
12. 関係資料

1. はじめに

平成29年度は新センター事務所の開設により、第1支援課から第3支援課の地域生活支援の拠点としての機能を重視した運営を行った。具体的には栄養管理・看護業務・預り金業務等の一元化や利用者支援における個別ケース対応の強化を図り、「利用者への質の高いサービスの提供と地域生活ニーズの充足」を実現するために、職員研修や人材育成等に力を置き組織の活性化及び業務の改善・効率化に努めた。

日常生活における安全・安心の確保といった観点から各グループホームにおける防犯カメラ等の設置を行った。具体的には、第1支援課の10ホームではそれぞれ防犯カメラ5ヶ所とカメラ付きインターホンの設置を行い、24時間型の第2・3支援課においてはそれぞれ6ヶ所の防犯カメラ設置を行った。更に安全性を高めるために第2支援課グループホームではセンサーライトの設置も併設した。

消防法令の改正に伴い、第1支援課の各グループホームの消防用設備の設置要件が変更され、「あさひハウス」をはじめ9ヶ所のグループホームにおいては新たに自動火災通報装置の設置が、「ホームりん」に関しては自動火災通報装置と消防通報装置の連動が必要となり、年度内に設置を行ったが、法令上設置要件となっていないがより安全性を高める為、「ホームりん」以外のグループホームにおいても消防通報装置と連動されるように工事を施工した。

その他の住環境整備として、「大町ハウス」の使用（エイシン不動産を仲介とした借用物件）を今年度で廃止し、新たにアパート型のグループホーム「ポップハウス」に移行し、それに合わせた利用者の移動も行った。

短期入所事業は、29年度においても従来の「はあもにい」における単独型のほか、グループホーム「かい」の併設型事業所を稼働し、生活体験を含めたニーズに即した運営を行った。「かい」短期入所に関しては緊急性の高いケースとしての受け入れがあり、後半に関してはほぼフル稼働の状況であった。

業務管理としては、時間外労働や有給休暇における適正な労務管理を行い、職員研修においてはインターネットを活用した定期的な研修（サポーターズ・カレッジ研修）及び胆振圏域福祉人材育成講座への計画的な参加等による、より質の高いサービスの提供が出来る様取り組んだ。また、防災・防犯については定期の夜間火災想定の下での非難訓練をはじめ、白老町と苫小牧警察に協力を得ての防犯講習と不審者侵入を想定した緊急対応訓練を行った。

2. 地域生活支援センター「あぷろ」の体制

地域生活支援センター「あぷろ」は、法人独自の独立した地域の拠点として、管理者（センター長）・サービス管理責任者・生活支援員・事務員及び世話人の配置にて、三課体制のもとグループホーム等の利用者への様々な支援（金銭・医療・相談対応等）、及び各グループホーム等に対しての連絡・情報交換等の中核を担う事により、地域生活への積極的な対応を行った。

<第1支援課>

3. 地域巡回等の日常支援

地域巡回等の日常支援を、生活支援員が担当する事で、金銭面等相談事項や、通院等健康医療面・衛生面などより継続的な対応を行った。

- ・巡回時相談支援一週に1度定期に実施、必要により強化支援

- ・金銭管理支援－「あぶろ」による金銭管理支援、本人管理分金銭面支援
- ・健康医療支援－定期通院、緊急通院等対応、個人症状への対応

看護師による月1度の定期巡回の実施

(入院治療による症状の改善・通院観察による精神安定等)

季節型インフルエンザ予防接種実施：11/21 (みらいえにて：白老町立)

11/30 (ポプリにて：白老町立)

- ・環境衛生支援－身辺衛生の点検、必要対象者への強化支援の実施
- ・避難訓練－夜間火災想定 (11/20～30)

平成29年度入院、通院状況

<入院状況>

11/1～12/5 倦怠感・食欲不振、11/10～12/5 服薬調整 (高血圧)

12/26～1/5 体調不良 (食欲不振等)、2/9～3/7 リウマチ性多発筋痛症
(総数4件)

<通院状況>

内科 228 件、歯科 68 件、皮膚科 26 件、外科 15 件、整形外科 14 件、
泌尿器科 12 件、脳外科 10 件、耳鼻科 50 件、精神科 83 件、眼科 5 件、
婦人科 9 件、神経内科 2 件 (総数 522 件)

～平成29年度通院実績～

GH名	平成29年									平成30年			ホーム単位 実績 集計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
青葉	1	2	4	3	2	3	5	3	3	4	5	2	37
あさひ	0	2	5	0	1	0	3	1	2	1	2	4	21
大町	1	4	3	3	2	6	3	7	3	5	4	5	46
桜丘	2	4	5	7	4	5	2	5	10	3	3	14	64
白老	3	3	4	5	2	4	7	6	4	6	5	5	54
すずらん	9	7	8	15	5	11	11	7	14	7	14	7	115
日の出	3	1	3	1	2	3	2	2	1	1	4	1	24
みずき	3	5	1	5	2	6	4	4	5	5	5	4	49
みな	0	1	0	0	1	4	1	2	3	1	0	6	19
りん	3	2	3	2	2	4	4	2	4	1	4	3	34
アパート	7	5	3	4	4	8	5	3	5	4	7	4	59
月間単位 実績 集計	32	36	39	45	27	54	47	42	54	38	53	55	522

4. 利用者住居の移動、新規受け入れ

平成29年度には4月にポプリ利用者（女性）のケースを白老町からの虐待案件として受け入れた。現在も利用中であるが契約内容等についてあぶろ・保護者間で再契約を交わす必要があり、町担当者を含めた会議を予定している。

新規利用者について受け入れはなかったが、利用者の障がい特性に合わせた環境整備の為の転居を、年度末において消防法改正に応じた内容を含め16名の転居を行った。

5. 地域生活支援会議の実施

支援スタッフ（地域生活支援員、世話人）が参加し、各グループホーム利用者の状況・全体レベルでの認識事項の共有・諸行事の実施等の項目について話し合いを行う「スタッフ会議」及び「各ホーム単位会議」をそれぞれ年6回実施し、日常的な連絡事項等については「センターあぶろ」にて集約しながら個別ケースにおける対応を行ってきた。

「スタッフ会議」

（会場：センター2階）

・4/13 ・6/8 ・8/10 ・10/12 ・12/14 ・2/14

「各ホーム単位会議」

（会場：各グループホーム）

・第1回 5/17～6/6 ・第2回 7/21～8/10 ・第3回 9/8～9/28

・第4回 11/5～11/24 ・第5回 1/9～1/26

6. 利用者自治会（青葉会）活動・余暇活動の支援

平成29年度は、地域生活利用者の自治会、青年学級「青葉会」の運営等について、その活動が円滑に行える様に側面からの支援を行った。また、自主的な活動と合わせて、ティーボール、ボウリング、映画鑑賞、カラオケ、料理教室等への参加希望者を募り余暇活動としての各種活動を行った。

「青葉会行事」

・総会（5/26）

・一泊旅行（9/2～9/3）洞爺湖万世閣宿泊、

洞爺湖遊覧船、有珠山ロープウェイ

・交流会【イートアップ・苫小牧イオン】（3/4）

「余暇活動」

・外出行事（5/4、5/21、8/12、12/31～1/2）

・ティーボール（5/13、6/24、8/5、10/14）

・映画鑑賞（7/22） ・ボウリング（7/8）

・カラオケ（10/28） ・調理教室（2/12）

・クリスマス会【コミセン】（12/9）

「松がえ会」

・ボウリング（5/28） ・一泊旅行（7/29～30）

「日胆地方会」

・パークゴルフ大会（6/26）

「利用者研修」

・第26回人権セミナー参加（2/12、札幌社会福祉総合センター）

<第2・3支援課>

7. 24時間型グループホームの生活支援

平成29年度においても、第2支援課では利用者の重度化・高齢化に対し、職員のスキルアップや看護・栄養専門職の意見を日常生活支援に活かし、安心して安全な生活の提供を目指し、第3支援課では様々な障がい特性を有する男性利用者に対する多くの支援スキルを身に着けるため、職員のスキルアップを目指してきた。

日常の食事提供については、栄養バランス・健康面に配慮された献立レシピに基づいた食事の提供や持病に応じた個別食の提供も行った。また、定期的リクエストメニュー（お任せメニュー）、行事食などの必要な支援により潤いのある食事内容を目指した。

- ・健康管理支援-日常的なバイタルチェックの実施。
- ・医療支援-定期受診や緊急通院等対応等、個人症状への対応。

看護師による月1度の定期巡回の実施

※1 入院時の諸手続き、入院治療による症状の改善
通院観察による精神安定等

※2 季節型インフルエンザ予防接種実施：11/21（みらいえにて：白老町立）
11/30（ポプリにて：白老町立）

- ・環境衛生支援-身辺衛生の点検、支援必要対象者への実施。
- ・防犯訓練-夜間不審者侵入を想定した緊急時対応訓練（10/21）

平成29年度入院、通院状況

<入院状況>

(3/27)～4/10 小脳虚血発作疑い、4/6～4/7 術前検査（食道拡張）
4/26～4/27 食道拡張、6/5～6/9 急性肺炎、6/14～7/18 検査入院
9/8～9/15 脳梗塞、9/10～9/12 う歯治療、9/19～9/25 心不全疑い
9/30～11/4 左大腿骨頸部骨折、12/7～12/9 検査入院 （総数10件）

<通院状況>

内科177件、歯科129件、皮膚科96件、外科8件、整形外科21件、
泌尿器科8件、脳外科25件、耳鼻科16件、精神科214件、眼科7件、
肛門科4件、婦人科1件 （総数706件）

～平成29年度通院実績～

GH名	平成29年									平成30年			ホーム単位実績 集計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
いころ	20	10	23	15	19	15	22	13	24	9	15	7	192
のんの	5	4	12	5	8	9	9	6	10	2	5	10	85
れら	9	7	8	4	7	13	9	8	7	5	10	5	92
そら	7	4	10	3	9	0	8	2	10	4	6	4	67
とも	10	7	15	8	9	10	9	9	11	4	11	4	107
のあ	4	3	10	3	5	2	5	5	3	5	5	6	56
かい	9	11	17	9	7	7	6	10	9	6	10	6	107
月間単位実績 集計	64	46	95	47	64	56	68	53	74	35	62	42	706

8. 余暇支援の充実

ホーム単位行事・合同行事・事業所単位行事を行い、季節を感じる催しなどにより地域生活を送る楽しみを感じてもらおうと努めるほか、利用者の自主性を尊重した突発的な行事にも対応した。

平成 29 年度行事・外出状況

プール外出、合同バーベキュー、ホーム単位一泊旅行、クリスマス会、忘年会、未帰省者外出、カウントダウン参り、新年会、節分、ひな祭り、買物・食事外出（苫小牧方面・登別方面等）、クリーン作戦、誕生会…等々

9. グループホーム各種会議の実施

毎月初旬に嘱託職員以上の職員参加による職員会議を開催し、その内容を基に各ホームでホーム単位会議を行い、所属職員同士で意思の確認を行った。また、利用者個々の心身及び環境の変化に応じ、サービス担当者が随時ケース会議を開催した。

また、年間を通し幹部・役職職員による「あぶろ運営会議」を開催し、各課での情報交換や職員労務管理及び利用者支援の統一・強化を図った。

<短期入所>

10. 短期入所事業について

併設型短期入所（定員1名）のグループホーム「かい」での状況について、基本的にはグループホーム入居を前提とした利用希望者を対象に、少人数単位での集団生活体験を踏まえた運営を行った。しかし、今年度後半においては、緊急性の高いケースの受け入れがあり、ほぼフル稼働の状況であった。

平成 29 年度月別利用実績～併設型短期入所グループホーム「かい」～

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実人数	2	2	2	3	1	1	1	1	1	1	1	1
延人数	9	6	4	11	15	20	29	26	31	30	28	31

(総数 実人数 3名 240回)

11. 町内会関係

〈東町第2町内会〉

4月14日（金） 18:30～ 第1回役員会 センター2階

6月2日（金） 18:30～ 第2回役員会 センター2階

〈福祉部（ふれあいチーム）会議〉

5月18日（木）、6月15日（木）、9月7日（木）、11月9日（木）

1月18日（木）、3月15日（木）

〈狂犬病予防注射〉

5月20日（日）【あぶろ駐車場にて】

1 2. 関係資料

(H30. 3. 31)

第1支援課

(1) 支援区分状況 (人)

	男	女	計
区分5	1	0	1
区分4	14	3	17
区分3	9	4	13
区分2	10	1	11
区分1	6	1	7
合計	40	9	49

(2) 日中活動先 (人)

	男	女	計
一般就労	8	0	9
ポプリ (就労継続B)	18	6	24
ポプリ (生活介護)	3	2	5
愛泉園	5	0	5
みらいえ	6	1	7
合計	41	8	49

平均年齢：41.6歳 (男性40.7歳、女性45.8歳) 平均区分：2.9 (男性2.8、女性3)

第2支援課

(1) 支援区分 (人)

	男	女	計
区分6	2	5	7
区分5	3	7	10
区分4	3	1	4
合計	8	13	21

(2) 日中活動先 (人)

	男	女	計
愛泉園 (生活介護)	4	3	7
みらいえ (生活介護)	4	10	14
合計	7	14	21

平均年齢：46.0歳 (男性39.1歳、女性49.4歳) 平均区分：5.1 (男性4.9、女性5.3)

第3支援課

(1) 支援区分 (人)

	男	女	計
区分6	6	0	4
区分5	12	0	14
区分4	7	0	7
区分3	2	0	2
合計	27	0	27

(2) 日中活動先 (人)

	男	女	計
ポプリ (就労支援B)	1	0	1
ポプリ (生活介護)	6	0	6
愛泉園	8	0	8
みらいえ	12	0	12
合計	27	0	27

平均年齢：36.9歳 平均区分：4.8